

校 報 滝 呂

多 治 見 市 立 滝 呂 小 学 校

たくましく豊かに伸びる滝呂の子ども
～考えつくりだす子 はげましあう子 きたえる子～
4 本柱「まんぞく授業」「さがかけあいさつ」
「ピカピカそうじ」「げんきな体と心」

<http://school.city.tajimi.lg.jp/takiro/>
2025.6.2 第 3 号

言葉には力がある

校長 鈴木 雄詞

言葉は人をよい気分させることもあれば、いやな気分させることもあります。発する人が思っている以上の影響力があります。昨今、社会の中では、自分以外の人の命や存在を大切にしていらないと思える言葉が増えているように思います。それは小学校という小さな社会の中でも見かけることがあり、子供たちの将来を思うと心配です。何とか少年期のうちに「言葉がもつ力」に自ら気付き、適切に言葉を使ってほしいと切に願っています。

そこで、見方を変えれば、言葉がもつ力を利用してみんなが気分よく過ごせる空間も作り出せるのではないかと思います、全校児童に以下の提案をしてみました。

★ 声の大きさは問題ではない。とにかく「あいさつ」をしよう。

朝、校門や通学路で出会う子供たち。元気いっぱいあいさつを交わす子、うつむき加減で小さな声であいさつをする子、まさに十人十色です。その日その日、きっと子供たちなりに色々抱えて登校してくるのでしょう。だから、どんな形でも「おはよう」が言える子は◎です。一方、ただ無言で通り過ぎていく子は大人を信用していないのか、意味のないことだと決めつけているのか、その姿を見ると心配せずにはいられません。挨拶は、した方もされた方も大なり小なり気分が明るくなります。「おはよう」という言葉のもつ力を感じてほしいと思います。この話をした翌日、29区の通学の様子を見に行きました。私が見た限りでは、全員できていました！中には、「校長先生が来た！言うぞ、言うぞ」というオーラを発しながら、満面の笑みで近づいてくる子もいて、もう、100点満点です。

★ 友だちに注意するときは、やわらかく「〇〇するよー」と言おう。

相手の行為を否定する言い方は、どうしてもきつい口調になりやすく、言われたほうもイライラして反抗したくなるし、周りで聞いている者も不快な気持ちになります。

そこで、例えば、廊下を走る子に注意するときは、「歩いていくよー」、おしゃべりを注意したいときは、「静かに聞くよー」、挨拶を促すときは、「あいさつするよー」と。

以前、カーリング女子日本代表の選手たちが、「そだねー」という言葉でコミュニケーションをとっている姿が話題になりました。あんな感じの声掛けが学校でされていけば、みんなが優しい気持ちになるのではないかと思います。子供たちには、みんなできやってみようよ、と話しました。ご家庭や地域でも話題にしてくださいと幸いです。



「わたしの主張大会滝呂校区大会」
6人の代表児童のみなさん。どの主張も、聞く人を感動させるすばらしいものでした！（5月24日）